



## 山口 淳二

北海道大学  
理事／副学長  
ダイバーシティ・  
インクルージョン  
推進本部 本部長

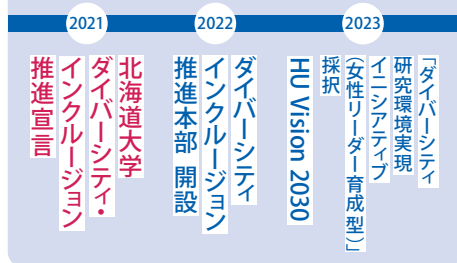
北海道大学(以下、北大)のダイバーシティ推進を中心となって牽引してきたダイバーシティ・インクルージョン推進本部 (Office of Diversity, Equity and Inclusion: 以下、DEI推進本部)本部長の山口淳二理事と副本部長の矢野理香副理事。お二人に「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型)」の申請に至るまでの経緯や、今回の採択にあたっての意気込みを伺いました。

## これまでの活動と課題

—北大は、DEI推進本部を中心に無意識の差別や偏見を乗り越えたバイアスフリーキャンパスの実現に向けて取り組んできたと思います。これまでの活動で気づいた課題を教えてください

**山口理事** 北大では、ダイバーシティ、特に女性研究者の育成・支援は2006年に男女共同参画推進の取組の一環として、女性研究者支援室を開設し活動を開始しました。これまで環境整備を中心に取り組んできましたが、まだ充分ではありません。また、女性研究者比率も低く、第3期中期計画で掲げた目標を達成できていませんでした。この2つの大きな課題に取り組むべく、環境整備と女性研究者比率を上げることを中心に進めていこうと考えています。

### 本学DEI推進の主な経緯



## 矢野 理香

北海道大学  
副理事  
ダイバーシティ・  
インクルージョン  
推進本部 副本部長



文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ

## 「女性リーダー育成型」 始まります!



この度、北海道大学は令和5年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型)」の採択を受けました。本事業では、学術を起点として世界の課題解決に貢献するためのDEIを実現するため、「Accelerate Ambitions of All」(Tripple A)をテーマに、すべての女性研究者がAmbitionを存分に発揮できる環境を整えるとともに、上位職・管理職における女性比率増加の加速を目指し、令和10年度までの6年間、事業を実施していきます。

### 行動計画

#### I DEI推進の基盤としての抜本的な組織改革および意識改革

- 1 DEI推進体制の強化
- 2 全学的なDEI意識の改革と醸成
- 3 DEI環境の整備とケア支援の拡充

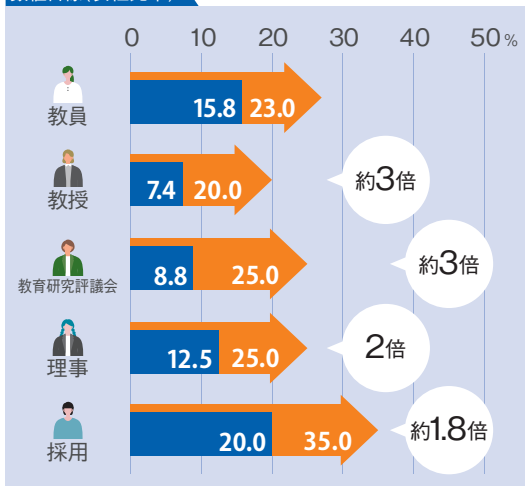
#### II 各人のambitionに寄り添った女性研究者リーダーの育成

- 1 上位職(管理職)の育成・支援
- 2 研究力強化およびリーダー育成・支援
- 3 若手研究者(博士学生含む)のキャリア形成支援

#### III 女性研究者の採用および上位職への積極的な登用

- 1 女性教授増加を促進する「加速アクションプラン」の実施
- 2 女性教員採用を促進するための総合的な人事計画の策定

数値目標(女性比率) ■=2023 ■=2028



各取組・支援策の詳細は、随時DEI推進本部ウェブサイトでご案内します。



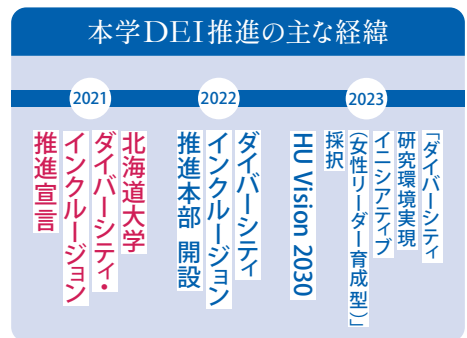
**山口 淳二**  
北海道大学  
理事／副学長  
ダイバーシティ・  
インクルージョン  
推進本部 本部長

北海道大学(以下、北大)のダイバーシティ推進を中心となって牽引してきたダイバーシティ・インクルージョン推進本部(Office of Diversity, Equity and Inclusion: 以下、DEI推進本部)本部長の山口淳二理事と副本部長の矢野理香副理事。お二人に「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型)」の申請に至るまでの経緯や、今回の採択にあたっての意気込みを伺いました。

これまでの活動と課題

—北大は、DEI推進本部を中心に無意識の差別や偏見を乗り越えたバイアスフリーキャンパスの実現に向けて取り組んできたと思います。これまでの活動で気づいた課題を教えてください

**山口理事** 北大では、ダイバーシティ、特に女性研究者の育成・支援は2006年に男女共同参画推進の取組の一環として、女性研究者支援室を開設し活動を開始しました。これまで環境整備を中心に取り組んできましたが、まだ充分ではありません。また、女性研究者比率も低く、第3期中期計画で掲げた目標を達成できていませんでした。この2つの大きな課題に取り組むべく、環境整備と女性研究者比率を上げることを中心に進めていこうと考えています。

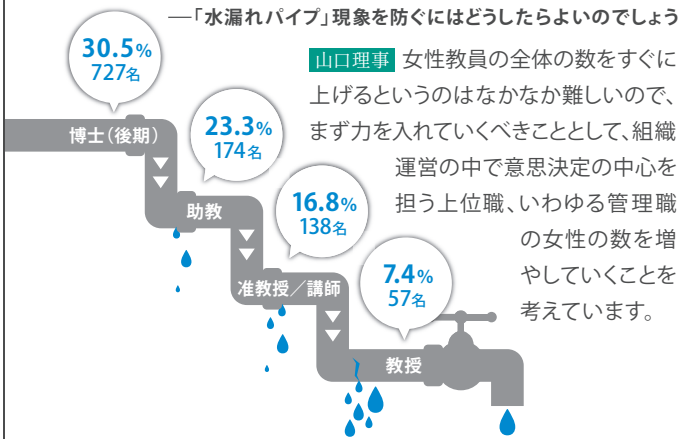


**矢野 理香**  
北海道大学  
副理事  
ダイバーシティ・  
インクルージョン  
推進本部 副本部長

# 女性教員比率と目標値

—北大の女性研究者の比率はどのような状況ですか

**山口理事** 博士課程学生の女性比率は30.5%(2022.5.1現在)ですが、教授の女性比率は7.4%(2023.5.1現在)です。職階ごとに詳しく見ると、キャリアが上がるにつれ比率は低くなっており、特に講師・准教授から教授になるところがぐっと低くなっています。このように研究者キャリアからいなくなる現象を女性研究者の「水漏れパイプ」と言いますが、他大学と比較してもこの減少幅が大きいのが現状です。



—管理職である女性教授を増やすのですね。具体的にはどれくらい増やしていきたいとお考えですか。

**矢野先生** 現在本学の女性教授の比率は約7.4%と低く、25名増えることで10%まで上げることができます。これを、一つの到達点として位置づけました。私も会議などで、自分以外は全員男性という状況がよくありましたし、このような場面は珍しくないと思います。これまで違和感を感じていませんでしたが、改めて7.4%という数字を見ると、この偏りによって意見の多様性など様々な面で機会損失があったのではないかと思います。この数字を受け止めることで女性研究者だけでなく、教職員や学生にとってもこれまでの当たり前が、本当は当たり前ではないことに気づききっかけになってほしいと思っています。

## 研究環境改善へ 持続可能な取り組み

—どのように女性教授や女性教員を増やす取り組みを進めていこうとお考えですか。

**山口理事** 分野の現状を把握した上で長期的な取り組みを考える必要がありますので、今回は各部局で組織として女性教授や女性教員を増やしていく取り組みについて考えていただいています。大学は伴走支援のような形で各部局との信頼関係を築きながら研究環境の改善に取り組もうと考えています。

—女性教授が増えることでどのような効果が期待できるでしょうか

**山口理事** 研究室にロールモデルとなる女性教授がいることによって、学生のキャリアの目標の一つになったり、博士課程に進学する修士課程の学生も増えていくような循環ができたりすることを期待しています。また、身近にロールモデルとなる女性教員が存在しているだけでなく、その人が毎日生き生きと過ごしているという姿を見せてくれることも重要だと思います。

—活き活きと過ごさせていることが重要なですね。そのための取り組みで考えていることはありますか

**矢野先生** 部局によって女性教員がとても少ないところもあるので、横のつながりを作っていきたいと考えています。例えば保育園や学童など子育てに関する情報や、上位職ならではの悩みやノウハウなどを共有できる場があると安心して働けるといいますし、このようなネットワークを作ることで、さらに研究面でも異分野融合のアイデアにつながるかもしれません。私はこの少子化時代はやはり「子どもは社会で育てる」ものだと思います。母親や父親だけでなく、みんなでどうやって子どもや、育てている人を支えられるかということを考えられる意識を醸成したいと思っています。

—では、設備面での支援ではどのようなものをお考えですか

**矢野先生** 例えば、創成科学研究棟にベビールームが設置されています。少し子どもを遊ばせられるようなマットがあったり、おむつ替えができたり、授乳ブースもある設備です。こうした実際の支援の事例を他の部局にも伝えて、どのような設備が必要かを一緒に考えていくのもDEI推進本部の役割だと思っています。

—今回の取り組みは研究力の増進にどのようにつながっていくのでしょうか

**矢野先生** 女性研究者も含めて研究者が何を求めているかという「研究も教育もしたい!」という思いですよね。それを叶えるためのサポートが私たちの役目で、研究・教育環境を整備することで、教員が思う存分研究も教育もできるようになることを願っています。そしてそれが成果につながり、その成果は社会に還元していくものと思っています。

**山口理事** 私は研究室の学生に「とにかく大学に楽しく来られれば、それが一番だよ」と話してきました。それは学生だけではなく、職員や教員にも当てはまりますよね。大学という場で、いろいろな人との交流の中から出てくる発想や楽しみを見出し、そこから自分のパフォーマンス、つまり研究力にもつながっていく。そのような環境で個々の研究力が上がっていけば、大学全体も活性化していくと思っています。今回の女性リーダー育成型はその良い循環を生み出すための起爆剤と位置づけています。

## 女性研究者へ向けて一言

**矢野先生** これから上位職に就き、組織の意思決定に参画していく女性教員が増えていくと思いますが、ステージが変わることについて不安を覚える方もいるかもしれません。実際には大変なことはあるかもしれませんが、チャレンジをしたときには、今までと見える景色が全然違ってきます。そしてそれが自分の考える幅を広げ、教育や研究面でもステップアップできる良い機会になります。ぜひチャレンジしていただきたいです。物理的に時間が足りないという問題はみんな協力しましょう、そのための増加策でもありますから。

**山口理事** 大学運営に関わっていると、立場が人を変えていることを実感します。どう変わるかは自分も周りもやってみるまでわかりませんが、いろいろな人たちが性別によらず、自分の仕事を楽しくやれる、大学の運営なども一緒にやっていけるような環境を作っていくことが大事だと思っています。チャンスがきた時にみなさんが手を挙げられるように環境を整備していきますので、その時はぜひ手を挙げていただきたいと思っています。

TOPIC  
**1**

## 古河講堂パープル・ライトアップ&ハラスメント講演会を実施 内閣府「女性に対する暴力をなくす運動」関連企画

11月22日(水)、女性の人権尊重ならびにハラスメントや差別的言動に対する学内構成員の意識向上を図るため、古河講堂パープル・ライトアップ、ハラスメント講演会を行いました。ライトアップ会場は多くの学生や市民で賑わいました。講演会では、「大学におけるセクシュアル・ハラスメントの現状と対策」と題し、本学ハラスメント相談室専門相談員の佐藤直弘氏より大学におけるセクシュアル・ハラスメントの実態と、被害を受けた時・見かけた時の対処法等について、弁護士の須田布美子氏よりセクシュアル・ハラスメントの実情と、法的位置づけ等を含めたハラスメントが無くならない理由と対策についてお話しいただきました。

詳細はこちらから

[www.dei.hokudai.ac.jp/archives/23395/](http://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/23395/)



TOPIC  
**2**

## 「第1回ブックトーク ～話題の著者と話してみよう～」を開催

12月6日(水)、『炎上CMでよみとくジェンダー論』の著者である東京大学のジェンダー論講義で人気瀬地山角先生をゲストにお迎えし、ブックトークの学生と共にジェンダー論について語り合うブックトークを行いました。発表者の学生からは事前にテーマ図書を読んだ上でのプレゼン発表があり、瀬地山先生からはフィードバックを含む講演をいただきました。

詳細はこちらから

[www.dei.hokudai.ac.jp/archives/23449/](http://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/23449/)



### COLUMN

#### THEME

## ダイバーシティ推進WG発足!

2022年秋に、文学研究院にダイバーシティ推進ワーキンググループ(WG)が、藤田文学研究院長の特命WGという形で発足しました。設立の喜ばしさとは裏腹に、設立に至るきっかけは教員に対するハラスメントという許しがたい事件の発生でした。その事件を通して表面化したのは、教職員がハラスメントを受けた際に、ワンストップで相談できる仕組みや、教職員の多様性を考慮した対応ガイドラインが学内にないことでした。文学研究院ではこのような状況を改善し、文学研究院が誰にとっても安心でき、かつ安全な環境になるように、ダイバーシティ推進に理解と関心のある有志の文学院所属教員から成るWGを設置しました。メンバーには女性や和人以上のルーツを

持つ方ももちろん、男性の方もいます。WGでは、各自のバックグラウンドを活用して多様な視点から意見交換し、環境改善の実現可能性を探っています。WGではこれまで部局に対し、いくつかの提案をおこなってきましたが、「ハラスメントに遭遇した際の教職員の行動マニュアル」、DEI推進に関する投書箱、ハラスメント・差別防止に関するFD、文学部棟「だれでもトイレ」サイン、文学院入試入学願書における性別回答欄について自記式への変更、文学部棟内の「多目的休養室」(整備中)等が実現しています。本WGの取り組みが、何らかの参考になりましたら望外の喜びです。

WRITER 文学研究院ダイバーシティ推進WG 樋口麻里・谷本晃久



### EVENTS

2024 1.16 Tue. - 3.14 Thu.

ダイバーシティ&  
インクルージョン「図書展示」  
附属図書館  
(本館2Fオープンエリア)

2.20 Tue. 13:30-15:00

上位職スキルアップセミナー  
中央キャンパス  
総合研究棟1号館

2.13 Tue.

女子学生・大学院生  
交流会(仮)  
エンレイソウ

### CONTACT US



北海道大学  
ダイバーシティ・  
インクルージョン推進本部  
Office of Diversity, Equity,  
and Inclusion

公式ウェブサイト  
[www.dei.hokudai.ac.jp](http://www.dei.hokudai.ac.jp)



Email— [office@dei.hokudai.ac.jp](mailto:office@dei.hokudai.ac.jp)